

NEC

N8120-010 US110E

ユーザーズガイド（2009年9月 差分マニュアル [第2版]）

目次

1.	はじめに.....	4
2.	機能説明.....	5
2.1	画面解像度設定.....	5
2.2	接続エントリの自動再接続機能.....	7
2.3	ユーザモード設定.....	9
2.4	ネットワークリンク構成.....	11
2.5	システム – 設定.....	12
2.6	システム – 設定 2.....	14
2.7	プリンタ.....	15
2.8	プリンタ接続記録の削除.....	16
2.9	アップデート.....	18
2.10	アップデート機能の拡張パラメータ.....	24
2.11	シャットダウン時のアップデート.....	25
2.12	US110E のスクリーンショットの採取機能.....	27
3.	トラブルシューティング.....	28
3.1.	シャットダウン設定に関するトラブル.....	28
3.2.	設定初期化に関するトラブル.....	28
3.3.	US110E で使用しているポートについて.....	28
3.4.	接続エントリの「自動起動」とログオフ動作「電源断」を設定時の設定変更について.....	29
3.5.	US110E のネットワークスピードに関して.....	29
3.6.	アップデートについて.....	30
3.7.	Citrix 社 XenApp への接続に関して.....	31
3.8.	画面解像度設定に関して.....	31
3.9.	サウンドに関して.....	32
3.10.	マウスポインタのデザインについて.....	32
3.11.	コントロールパネルのアイコンについて.....	32
3.12.	デバイスの接続に関して.....	32
3.13.	USB 装置について.....	33
3.14.	プリンタに関して.....	33
3.15.	ネットワークについて.....	34
3.16.	キーボード入力について.....	34
3.17.	画面表示性能について.....	35

4. 強化・修正項目.....	36
4.1. 2009/09 版 強化・修正項目.....	36

1. はじめに

本マニュアルは、「N8120-010 US110E ユーザーズガイド(2008年5月 第2版)」に対する US110E 2009年9月アップデート版の差分マニュアルです。

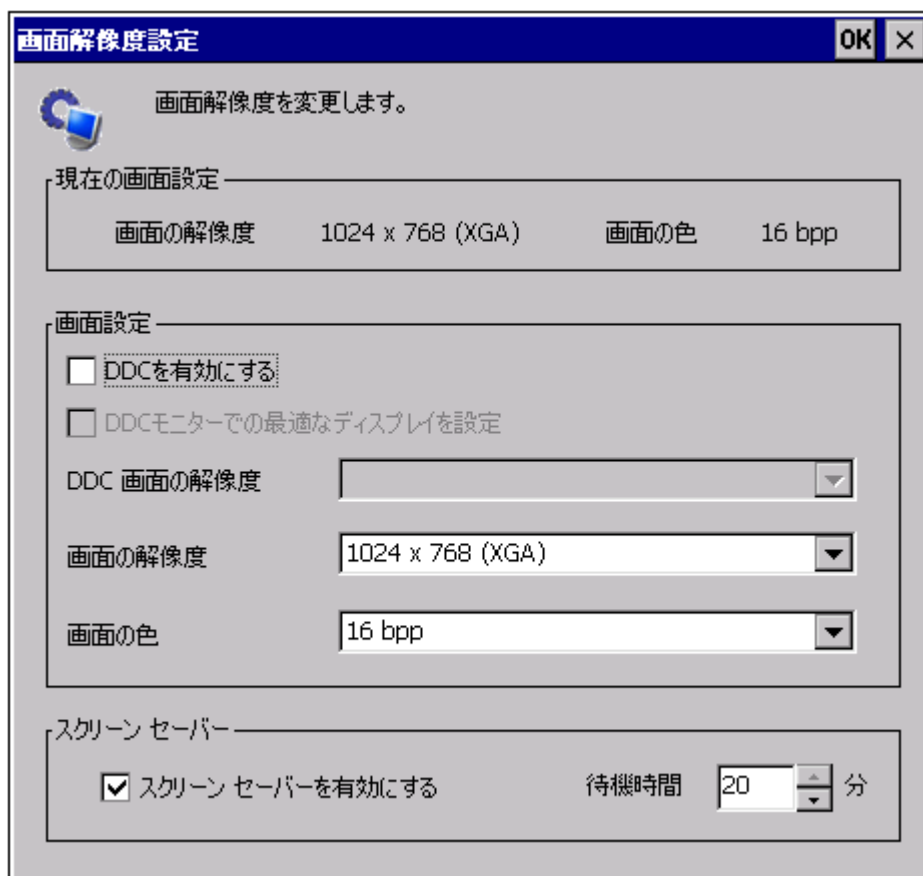
「N8120-010 US110E ユーザーズガイド(2008年5月 第2版)」は以下のホームページに公開されております。

<http://support.express.nec.co.jp/care/option/us110.html>

2. 機能説明

2.1 画面解像度設定

画面解像度とスクリーンセーバーの設定を行います。



- **DDC を有効にする**

DDC を有効にするにチェックすると、「DDC モニターでの最適なディスプレイを設定」または「DDC 画面の解像度」を設定できるようになります。

- **DDC モニターでの最適なディスプレイを設定**

ディスプレイから自動的に最適な画面設定を取得します。

- **DDC 画面の解像度**

ディスプレイが対応している解像度の一覧から使用する解像度を選択します。

● 画面の解像度

画面解像度を選択します。

「640×480 (VGA)」

「800×600 (SVGA)」

「1024×768 (XGA)」

「1280×1024 (SXGA)」

「1600×1200 (UXGA)」

「1920×1200 (WUXGA)」

● 画面の色

「16bpp」と「32bpp」から画面の色を選択します。

● スクリーンセーバー

スクリーンセーバーの設定を行います。待機時間は1分～20分の間で設定します。

チェック

- ・ US110E の画面表示性能を最大限に引き出すために、US110E の画面の色の設定と、仮想 PC 接続の画面色設定を両方とも 16bpp に設定してのご使用を推奨します。
- ・ DDC を使用する場合、使用するディスプレイが DDC に対応している必要があります。
- ・ 1920x1200 (WUXGA) の画面の解像度を使用する場合、画面の色数は 16bpp としてください。32bpp を選択した場合は 640x480 (VGA) 8bpp で起動します。なお、US110E が 1920x1200 (WUXGA) 16bpp で表示している場合でも、RDP 接続時は 1600x1200x16bpp で表示されます (Windows CE RDP5.2 の仕様)。

チェック

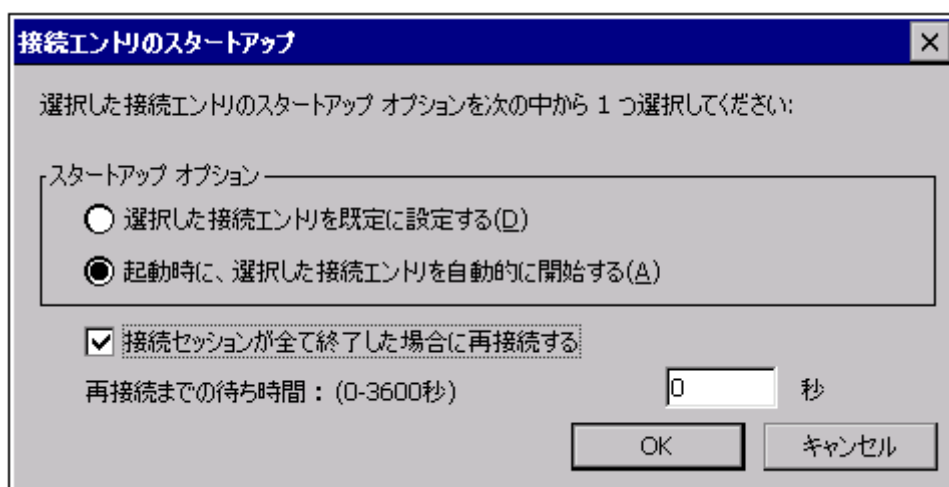
- ・ ディスプレイが表示できない解像度を設定して画面表示ができない場合、US110E を再起動して 3 秒以内に F12 キーを押すと、640x480 (VGA) 16bpp の画面解像度で再起動させることができます。

2.2 接続エントリの自動再接続機能

本機能は、ターミナル接続マネージャにて、接続セッションが全て終了した場合にスタートアップに設定した接続エントリを再接続する機能です。

使用する接続エントリに本設定を行うことで、接続中のすべての接続エントリが終了した際に、設定された接続エントリが自動的に接続されます。

1. 「ターミナル接続マネージャ」画面にて「構成」タブを選択してください。
2. 設定する接続エントリを選択し、『スタートアップ...』ボタンを押下してください。
3. 「接続エントリのスタートアップ」画面の「スタートアップオプション」より「起動時に、選択した接続エントリを自動的に開始する」を選択してください。
4. 「接続セッションが全て終了した場合に再接続する」チェックボックスにチェックを入れてください。
5. 「再接続までの待ち時間」に全接続エントリ終了後、設定された接続エントリに接続するまでの待ち時間を入力してください。(0秒～3600秒)
6. 『OK』ボタンを押下してください。



《 再接続の終了方法 》

再接続処理は、以下のいずれかの方法で終了させることができます。

1. 全接続エントリが終了した際に表示される「接続エントリのスタートアップ」ダイアログの『キャンセル』ボタンを押してください。このダイアログは「再接続までの待ち時間」に「0」以外の値を設定した場合に表示されます。

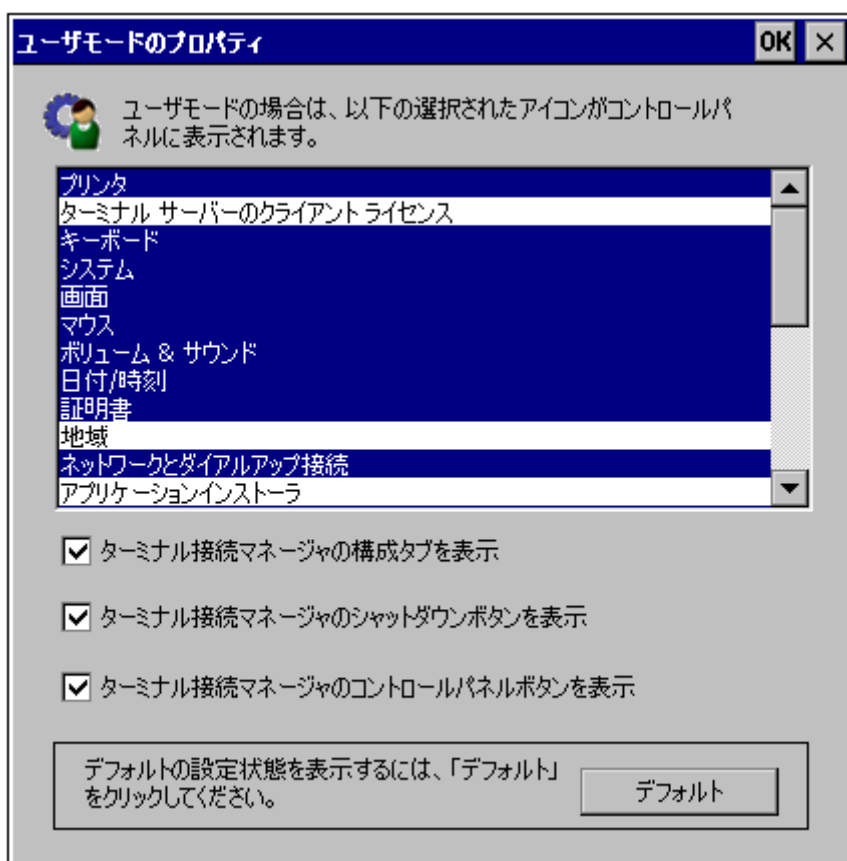
2. 接続エントリの接続中に「Ctrl+Alt+End」を押下してください。「ターミナル接続マネージャ」画面が表示されますので、設定を行った接続エントリの「接続エントリのスタートアップ」画面にて「接続セッションが全て終了した場合に再接続する」チェックボックスのチェックを外してください。

《 設定情報 (common.txt) ・ ユーザごとの接続先リスト (user.txt) 使用時の注意点 》

- ・「接続セッションが全て終了した場合に再接続する」と「再接続までの待ち時間」の値は、接続先リスト (user.txt) では配信されません。設定情報 (common.txt) での配信になります。
- ・「接続エントリのスタートアップ」ダイアログで、「起動時に、選択した接続エントリを自動的に開始する」を選択し、全接続エントリ終了時の再接続の設定を行った後、「選択した接続エントリを既定に設定する」に設定変更した場合、全接続エントリ終了時の再接続の設定はグレーアウトされ、設定中の接続エントリに対しては無効となります。しかし、US110E の設定としては保持されます。設定は common.txt での配信対象となります。
- ・ターミナル接続マネージャへのログオンを使用する場合、ログオンユーザに接続エントリが1つだけ設定されている場合、その接続エントリが自動的にスタートアップに設定されます。そのため、接続エントリの自動再接続機能設定があった場合、その接続エントリは自動的に再接続されます。

2.3 ユーザモード設定

ユーザモード時のコントロールパネルアイコンとターミナル接続マネージャの表示設定を行います。

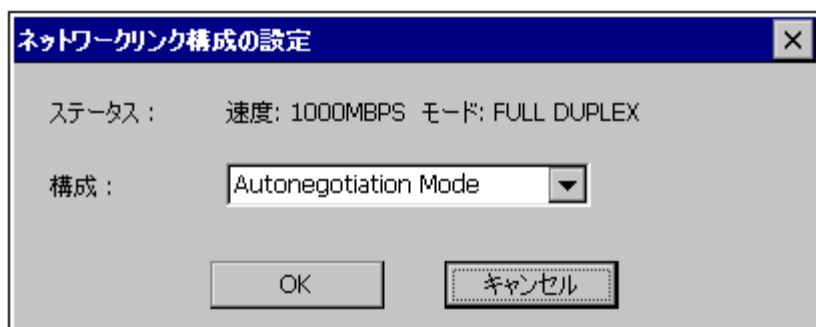


- **表示アイコンリスト**
ユーザモード時にコントロールパネルに表示するアイコンを選択します。
画面表示時は前回設定した（初回はデフォルト）選択状態が表示されます。
- **ターミナル接続マネージャの構成タブ表示チェックボックス**
ターミナル接続マネージャの構成タブの表示状態を設定します。
画面表示時は前回設定した（初回はデフォルト）選択状態が表示されます。
- **ターミナル接続マネージャのシャットダウンボタン表示チェックボックス**
ターミナル接続マネージャのシャットダウンボタンの表示状態を設定します。
画面表示時は前回設定した（初回はデフォルト）選択状態が表示されます。

- **ターミナル接続マネージャのコントロールパネルボタン表示チェックボックス**
ターミナル接続マネージャのコントロールパネルボタンの表示状態を設定します。
画面表示時は前回設定した（初回はデフォルト）選択状態が表示されます。
- **「デフォルト」ボタン**
「表示アイコンリスト」と「ターミナル接続マネージャ構成タブ表示チェックボックス」をデフォルトの選択状態にします。
- **「OK」ボタン**
構成タブ表示状態、表示アイコンを設定します。
- **「×」ボタン**
ユーザモード設定をキャンセルします。

2.4 ネットワークリンク構成

ネットワークリンク構成の設定を行います。



- **ステータス**

現在のネットワークの状態を表示します。ネットワークケーブルが接続されていない場合には「未接続状態」の文字が表示されます。

- **構成**

ネットワークリンク構成を選択します。デフォルト値は「Autonegotiation Mode」です。

「10 MBPS Half Duplex」

「10 MBPS Full Duplex」

「100 MBPS Half Duplex」

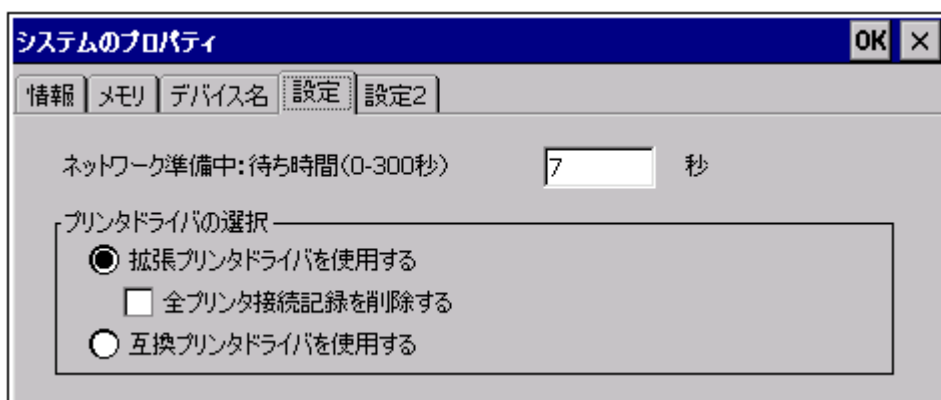
「100 MBPS Full Duplex」

「Autonegotiation Mode」

チェック

- ・ ギガビットネットワークに接続する場合は、「Autonegotiation Mode」を選択してください。

2.5 システム — 設定



ネットワーク準備中の待ち時間とプリンタドライバの選択を行います。

- ネットワーク準備中：待ち時間
ネットワーク準備中の待ち時間を 0 秒～300 秒の間で設定します。デフォルト値は 7 秒です。ネットワークが使用できるようになるまでに、待ち時間が必要な環境で、US110E をご利用になる場合、本設定をご利用ください。
- 拡張プリンタドライバを指定する
拡張プリンタドライバを使用する場合に設定します。複数のプリンタを US110E に接続して使用する場合はこちらを選択します。
- プリンタ接続記録を削除する
US110E に接続したプリンタの一覧を削除する場合に使用します。
- 互換プリンタドライバを指定する
従来プリンタドライバを使用する場合に設定します。

チェック

- ・ US110E のネットワークの設定で、DHCP を使用する場合、通常 5 秒程度の待ち時間が必要なため、デフォルト値を 7 秒としています。DHCP が設定されている場合は、アドレスが取得できた時点で、設定された待ち時間内であっても次の処理に進みます。
- ・ US110E のネットワークの設定で、固定 IP アドレスが設定されている場合は、設定された待ち時間の間、待機した後、次の処理に進みます。待機中に表示される「処理ステータス(ネットワーク準備中)」ダイアログは、「キャンセル」ボタンをクリックして処理を進めることができます。固定 IP アドレスを使用する場

合、通常は待ち時間を少なくして、US110E の起動時間を短縮することができます。

- STP を使用するネットワーク機器が使用されているネットワーク環境では、US110E がネットワークを利用できるようになるまでに、50 秒程度の待ち時間が必要です。

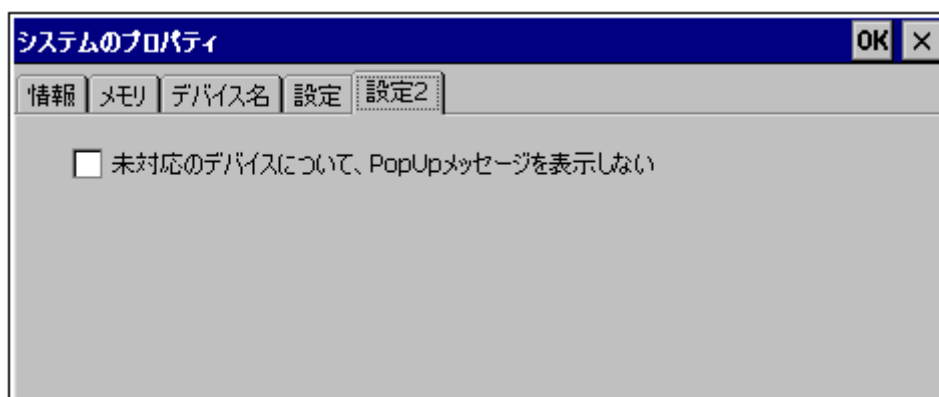
チェック

- US110E からプリンタの USB ケーブルを外してから、プリンタドライバの選択の設定を行ってください。
- 拡張プリンタドライバは、同一機種 of 複数台接続をサポートしておりません。同一機種を複数台接続しないでください。複数台接続した場合は、USB ドライバのインストールエラーのメッセージが表示されます。
- 拡張プリンタドライバに接続できるプリンタは 5 種類までです。6 種類目のプリンタを接続した場合には、USB ドライバのインストールエラーのメッセージが表示されます。

重要

- プリンタドライバの選択で設定を変更した場合、プリンタに設定されている情報は全て削除されます。再起動後、プリンタを設定してください。

2.6 システム – 設定 2

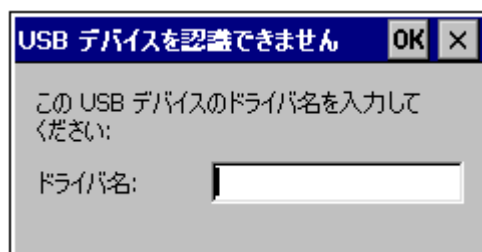


未対応のデバイスを接続された場合に表示されるメッセージの有無を設定します。

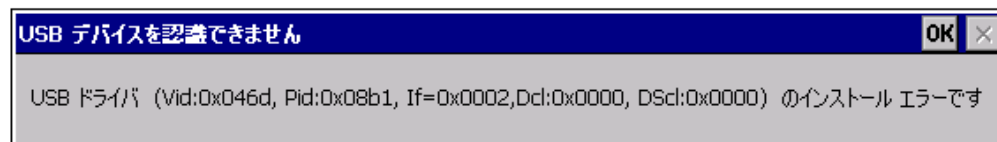
チェック

- 2009/09 版バージョンより未対応のデバイスが接続された場合のメッセージを変更しています。

以前のバージョンのメッセージ



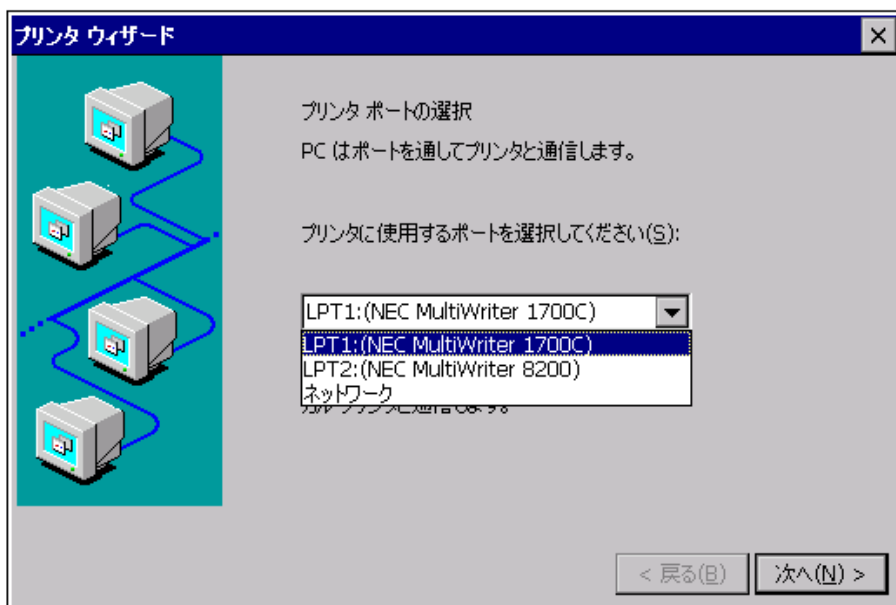
現在バージョンのメッセージ



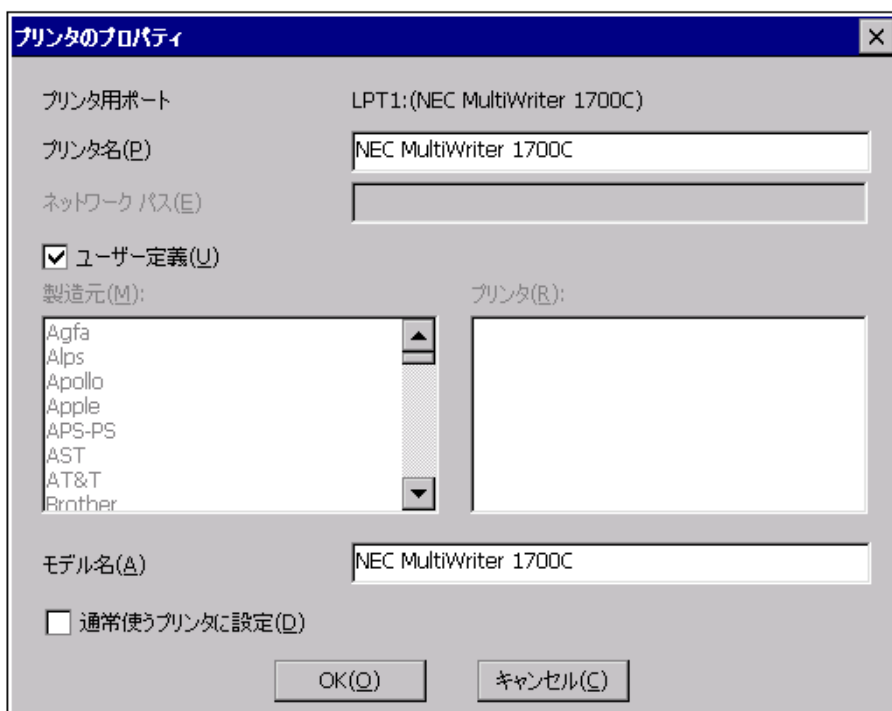
2.7 プリンタ

「拡張プリンタドライバ」設定時には、ポート(ポート 1~5)の横に接続されているプリンタの説明が表示されます。

■ プリンタの追加のウィザード画面

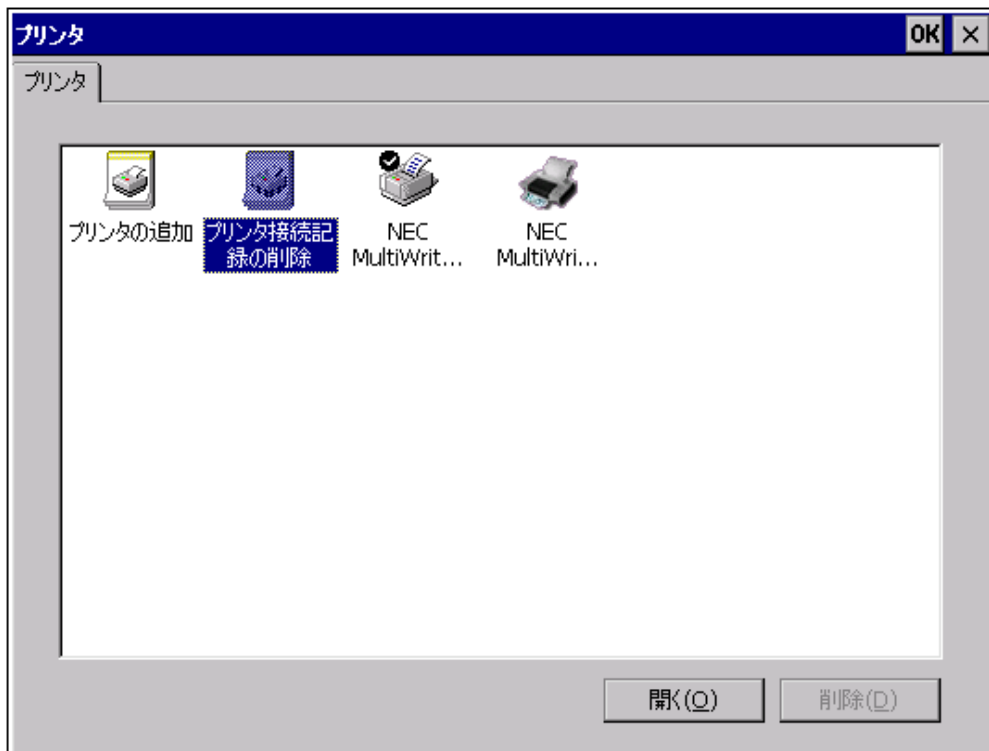


■ プリンタのプロパティ画面



2.8 プリンタ接続記録の削除

「拡張プリンタドライバ」使用時には、「プリンタ接続記録の削除」機能が使用できません。



「拡張プリンタドライバ」使用時は、プリンタは最大5種類までしか接続できません。本機能を利用して、過去に1度でも接続したことのあるプリンタの情報を削除することで新しいプリンタを接続することが可能になります。

削除するプリンタを選択して「削除」ボタンを押してください。



チェック

- US110E から削除するプリンタの USB ケーブルを外してから、削除を実行してください。
- 互換プリンタドライバを選択している場合は、本機能を使用できません。

重要

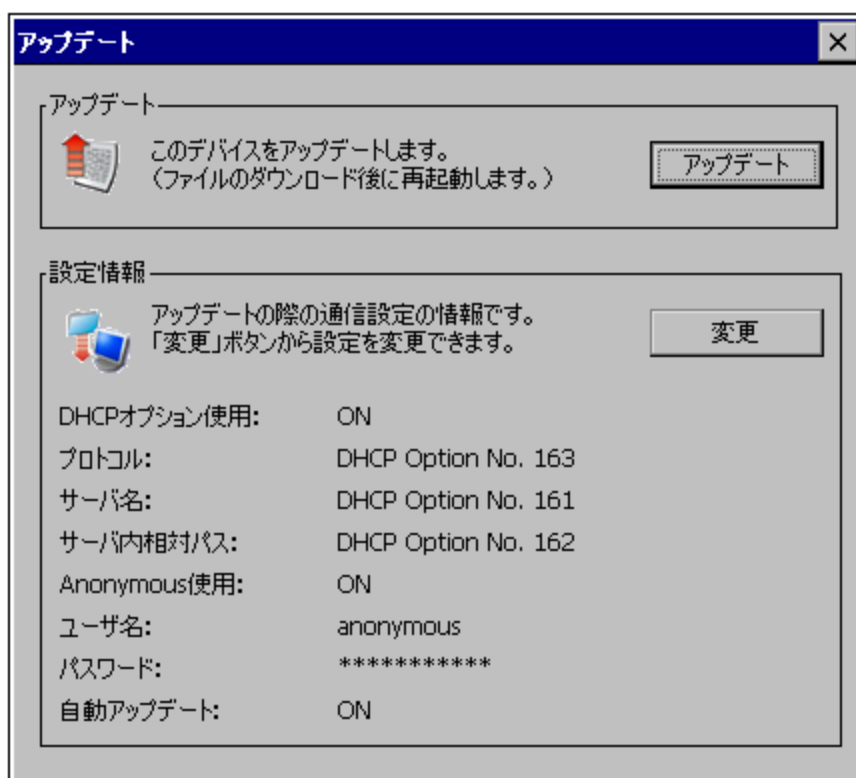
- プリンタドライバの選択で設定を変更した場合、プリンタに設定されている情報は全て削除されます。再起動後、プリンタを設定してください。

2.9 アップデート

アップデートの設定と手動アップデートの実行を行います。

アップデート

US110E のアップデートを行います。



アップデートを実行する場合は「アップデート」ボタンをクリックします。

アップデートが開始されると処理状況が表示されます。

アップデート処理終了後、処理結果のメッセージが表示されます。

例1) 「アップデートが完了しました。」

アプリケーションがアップデートされた場合に表示されます。

例2) 「サーバとの接続に失敗しました。」

サーバと接続できず、アップデートができなかった場合に表示されます。

アップデート処理で、設定情報 (common.txt) や OS (NK.nb0) をアップデートした場合、

その他必要な時に、US110E を自動的に再起動します。

OS (NK.nb0) をアップデートする場合、標準で 3 回、US110E を再起動します。

チェック

- アップデートのためにダウンロードサーバが必要です。
- デスクトップの壁紙の BMP ファイルはメモリ上に展開するため、他のメモリを利用するプログラムへの影響を考慮して 1MB 以下のサイズにします。
- アプリケーションや、壁紙をアップデートするには、アップデートするファイルをダウンロードサーバの所定のディレクトリに配置します。

アップデートするファイルの一覧をテキスト形式(UNICODE)で作成し、アップデートするファイルと同じディレクトリに list.txt という名前で保存します。1 ファイル 1 行で記載します。list.txt に記載するファイル名は大文字、小文字、スペースの有無なども含め、正確に記載してください。

行頭にスペース、タブなどがある場合は、ファイル名が正しく認識されません。ディレクトリを指定することはできません。

list.txt ファイルの例

```
fish.bmp  
bubble.bmp  
006.us_Administrator.CAB
```

- 設定情報 (common.txt)、プリンタ情報 (prnlist.txt)、証明書 (.cer/.pvk/.p12)、壁紙 (.bmp) のファイルは、タイムスタンプが異なっていれば、古いタイムスタンプでも、新しいタイムスタンプでもアップデート適用します。

重要

- list.txt に記載されていない壁紙 (bmp ファイル) が US110E に存在する場合は、記載されていないファイルは削除されます。(アップデートしたアプリケーションは削除されません。)
- 「list.txt」このファイルの名前は小文字で指定してください。「List.txt」等とすると、Linux サーバ等では別ファイルとして扱われます。
- list.txt は UNICODE 形式で作成してください。Windows のメモ帳で、ファイルを保存する際に「文字コード」として「Unicode」を選択して保存してください。
- 記載するファイル名と実在するファイル名は、大文字・小文字を同じに設定し

てください。

アップデート設定

アップデートの設定を変更します。

The screenshot shows the 'アップデート設定' (Update Settings) dialog box. It is divided into three sections:

- 通信設定 (Communication Settings):**
 - DHCPオプション使用 (DHCP Option Use)
 - DHCPステータス (DHCP Status): ON
 - プロトコル (Protocol): FTP, HTTP
 - DHCPオプション番号 (DHCP Option Number): 163
 - サーバ名 (Server Name): [Empty]
 - DHCPオプション番号 (DHCP Option Number): 161
 - サーバ内相対パス (Server Relative Path): [Empty]
 - DHCPオプション番号 (DHCP Option Number): 162
 - ユーザ名 (Username): anonymous
 - パスワード (Password): [Masked with asterisks]
 - Anonymous使用 (Anonymous Use)
- 自動アップデート設定 (Automatic Update Settings):**
 - 自動アップデートを行う (Perform automatic update)
 - 自動アップデートのタイムアウト: (0 ~ 300 秒) (Automatic update timeout: (0 ~ 300 seconds)): 0 秒
 - 自動アップデート開始の確認ダイアログを表示する (Show confirmation dialog at start of automatic update)
- 帯域制御設定 (Bandwidth Control Settings):**
 - アップデート時の帯域制御を行う (Perform bandwidth control during update)
 - 帯域幅 (Bandwidth): 1Mbps

利用環境に合わせて各項目を設定してください。

- DHCP オプション使用
チェックすると、DHCP オプション番号に設定されている DHCP オプション番号でプロトコル、サーバ名、サーバ内相対パスを取得します。
- プロトコル
ダウンロードサーバへ接続するプロトコル (HTTP または FTP) を選択します。
- サーバ名、サーバ内相対パス
ダウンロードサーバのサーバ名 (または IP アドレス) と相対パスを入力します。(最大 256 文字)
- DHCP オプション番号リスト
DHCP オプション番号の選択をします。DHCP オプション使用チェック時のみ有効です。

- Anonymous 使用
Anonymous 使用を選択します。(プロトコルが FTP の場合のみ)
- ユーザ名
サーバログオン時のユーザ名を入力します。(最大 128 文字)
- パスワード
サーバログオン時のパスワードを入力します。(最大 128 文字)
- DHCP ステータス
DHCP の状態を表示します。
- 自動アップデートを行う
US110E 起動時またはシャットダウン時の自動アップデートの有効/無効を設定します。
- 自動アップデートのタイムアウト
自動アップデートの場合に、サーバ検出時のタイムアウト時間を 0 秒～300 秒の間で設定します。デフォルト値は 0 秒です。
- 自動アップデート開始の確認ダイアログを表示する
ダウンロードサーバにアップデートファイルが見つかった場合に、アップデートの有無を確認するダイアログの表示有無を設定します。
- アップデート時の帯域制御を行う
ダウンロードサーバからファイルをダウンロードする時の帯域制御の設定の有無を設定します。デフォルト値は設定なしです。
- 帯域幅
帯域幅を選択します。デフォルト値は「1Mbps」です。
「1Mbps」
「512Kbps」
「256Kbps」
「128Kbps」
「64Kbps」
「32Kbps」

チェック

- ・ 自動アップデートのタイムアウトの最小値は 20 秒です。タイムアウト時間を 0 秒～19 秒に設定した場合でも、サーバが検出されるまで最大 20 秒間サーバ検出処理を行います。
- ・ 2009/09 版バージョンよりアップデート時のエラーチェックを強化しました。そのため、US110E の起動時に、従来は表示されなかった自動アップデート関連のエラーメッセージが表示される場合があります。例えば、自動アップデートの

サーバは設置しているが、アップデートに必要なファイル (list.txt 等) が存在しない場合、従来は起動処理を優先してエラーメッセージの表示で起動処理を中断することはありませんでした。現在のバージョンでは、このような場合、エラーメッセージを「OK」ボタンをクリックして閉じた後に起動処理を進めるように変更しています。US110E の FW アップデートを適用して以降、起動時に自動アップデートの処理でエラーメッセージが表示される場合は、アップデートサーバの設定を確認してください。サーバは設置しているが、自動アップデートを利用しない場合は、「自動アップデートを行う」のチェックボックスを外してください。

- 2009/09 版バージョンより、耐障害性を強化するために、アップデート適用するファイルを全てダウンロードしてから、アップデートするように変更しました。

重要

- 帯域幅を「32Kbps」に設定してアップデートを行った場合、OS(NK.nb0)のアップデートだけで約 2 時間かかります。ネットワーク環境によっては、さらに時間が長くなります。アップデート中に、LAN ケーブルを抜いたり、電源を切ったりしないでください。
- 複数台の US110E を一斉に自動アップデートする場合で確認メッセージの表示なしとして運用する場合、動作確認のために、まず 1 台の US110E で確認メッセージの表示ありとしてアップデートを実行して、処理中に表示されるメッセージと処理終了後の結果の確認を行ってください。その後に複数台の US110E にアップデートを適用する運用としてください。確認メッセージは、アップデートの設定ダイアログと list.txt の拡張パラメータで表示有無を切り替えることができます。

2.10 アップデート機能の拡張パラメータ

アップデートの実行は、以下のタイミングを選択することができます。

- アップデートボタン押下による手動アップデート
- 起動時の自動アップデート
- シャットダウン時の自動アップデート (2009/09 版追加機能)

list.txt に以下のパラメータを設定して、アップデート機能の動作を変更することができます。

パラメータ	説明
;BOOTUP	US110E の起動時にアップデートを実行する。(デフォルト)
;SHUTDOWN	US110E のシャットダウン時にアップデートを実行する。
;WITHOUT_MSG	自動アップデート開始時にアップデート実行有無の確認ダイアログを表示しない。
;WITH_MSG	自動アップデート開始時にアップデート実行有無の確認ダイアログを表示する。
;FORCE	バージョンダウンファイルの適用の抑制機能を解除します。

【表 1】 list.txt のパラメータ

- (1) 最後尾に改行コード「`¥r¥n`」が必要です。
- (2) パラメータに該当しない「;」(セミコロン)以降の文字列は、コメント扱いとなります。
- (3) 「;BOOTUP」、「;SHUTDOWN」の両方が記載されていない場合は、起動時にアップデートを実行します。デフォルトは「;BOOTUP」です。
- (4) 「;BOOTUP」、「;SHUTDOWN」の両方が記載されている場合は、後に記載されたコマンドを有効にします。
- (5) 「;WITHOUT_MSG」、「;WITH_MSG」の両方が記載されている場合は、後に記載されたコマンドを有効にします。
- (6) 「;WITHOUT_MSG」、「;WITH_MSG」の両方が記載されていない場合は、[コントロールパネル]-[アップデート]-[アップデート設定]ダイアログの「自動アップデートの開始の確認ダイアログを表示する」の設定に従います。
- (7) アップデート処理では、標準で OS(NK.nb0)とプログラム(.CAB)のバージョンダウンファイルの適用を抑制しています。list.txt ファイルの先頭行に「;FORCE」を挿入することで、抑制機能を解除することが可能です。

2.11 シャットダウン時のアップデート

シャットダウン時のアップデートは、以下の手順で設定します。

1. [コントロールパネル]の[アップデート]を起動し、[変更]ボタンを押下し、[アップデート設定]ダイアログを起動してください。
2. [自動アップデートを行う]をチェックしてください。

3. list.txt の先頭に「;SHUTDOWN」を記述してください。

【例】 list.txt

```
;SHUTDOWN
;WITH_MSG
000.acscid.CAB
000.UTR_1W.CAB
.....
```

その他の list.txt のパラメータ設定については、「2.10 アップデート機能の拡張

パラメータ」を参照してください。

以上で、設定は終了です。

US110E を再起動後、設定が有効になります。

2.12 US110E のスクリーンショットの採取機能

US110E の全画面のスクリーンショットを採取することができます。

US110E の画面を表示中に、[Print Screen]キーを押下することにより、クリップボードに保存され、接続先の仮想 PC 上のアプリケーション（ペイント）に貼り付けて利用することができます。

3. トラブルシューティング

3.1. シャットダウン設定に関するトラブル

Wake On Lan 機能が動作しない

→ Wake On Lan を設定時、AC アダプタを抜く等で US110E への電源供給を止めた場合は、Wake On LAN 機能を利用できません。再度 US110E を起動し、シャットダウンして、Wake On LAN 待機状態にしてください。

Wake On LAN 待機時の消費電力は、約 7Wになります。

3.2. 設定初期化に関するトラブル

画面解像度の設定情報が初期化されない

→ 画面解像度の情報は US110E OS を起動する前に必要となるため、特定の HW 領域に保存しています。設定初期化では、画面解像度設定は初期化の対象としていません。

3.3. US110E で使用しているポートについて

US110E で使用しているポートは以下になります

→ ● RDP: TCP 3389

US110E - (3389) → VPC

US110E ← (ANY) - VPC

● FTP: TCP: 21

US110E(ANY) ↔ (21)FTP サーバ

US110E(ANY) ↔ (ANY)FTP サーバ

● HTTP: TCP: 80, 443

US110E ↔ (80)VPC

US110E ↔ (443)VPC

3.4. 接続エントリの「自動起動」とログオフ動作「電源断」を設定時の設定変更について

自動起動と電源断を組み合わせで設定した場合に、US110E の設定変更を行うには以下の操作を行ってください

→ 固定 IP アドレスを誤って設定してエラーが発生し RDP 接続できない場合は以下の手順で行います。

1. エラーメッセージが表示された状態のまま、後ろに表示されている「ターミナル接続マネージャ」の画面をマウスでクリックします。
2. 「構成」タブを選択し、自動起動に設定されている接続エントリを選択し「スタートアップ」ボタンを押します。
3. 「接続エントリのスタートアップ」画面で「選択した接続エントリを既定に設定する」を選択し、「OK」ボタンを押します。
4. 手順 1 で表示されたメッセージを閉じてください。US110E がシャットダウンされます。
5. US110E の電源を入れると、「ターミナル接続マネージャ」の画面が表示されます。
6. 「コントロールパネル」ボタンまたは「F2 キー」を押してコントロールパネルを表示してください。
7. 「ネットワークとダイヤルアップ接続」のアイコンを選択実行し、IP アドレスを変更してください。

→ RDP 接続中の場合は、「Ctrl+Alt+End」キーを押すことでターミナル接続マネージャに戻ることができます。前述に従って変更してください。

3.5. US110E のネットワークスピードに関して

US110E のネットワークスピードは、Speed ランプの点灯色で判別が可能です。

→ 黄色 (オレンジ)	1Gbit
緑色	100Mbit
無点灯	10Mbit

3.6. アップデートについて

自動アップデートが失敗する

→ STPを使用したネットワーク環境下では自動アップデートが正常に動作しない場合があります。そのような場合には以下のいずれかの設定で回避することができます。

- ネットワーク待機の設定を変更して、US110Eの接続されているポートにてPortFast機能を有効にするか、STPを無効に設定する。
- システムのプロパティでネットワーク準備中の待ち時間を設定する。

アップデートが失敗する

→ アップデートに使用しています list.txt に記載するファイル名は大文字・小文字を区別します。実際のファイル名と同じように設定してください。

DPMを使用してアップデートできない

→ DPMでUS110Eにアップデートファイルを配信するためのバッチファイル(.bat)は「ANSI」形式でファイルを作成する必要があります。

ハンドセットが接続されている時に、ファームウェアをアップデートした場合は、一度US110Eの電源をオフにしてください。

クライアント管理オプションが Version 1 に戻る

→ US110Eのアップデートで提供していますクライアント管理オプションはVersion 1です。ご使用のUS110Eにクライアント管理オプション Version 2を適用している場合、アップデートモジュールをそのまま適用すると、クライアント管理オプション Version 1のモジュールに置換されます。クライアント管理オプション Version 2を適用されている場合は、アップデートモジュール内の「list.txt」ファイルから「002.ClientAgent.cab」を削除してインストールしてください。

ダウンロードに失敗する

→ FTPサーバとしてHP-UXを利用すると、FTPセッションが中断されるためアップデートが行われない場合があります。FTPサーバとして3CDaemonを利用した場合にも同様の事例があります。FTPサーバとしてIISの利用をお願いします。

設定情報(common.txt)がアップデートされる

→ 設定情報(common.txt)、プリンタ情報(prnlist.txt)、証明書(.cer/.pvk/.p12)、壁紙

(.bmp)のファイルは、タイムスタンプが異なっていれば、古いタイムスタンプでも、新しいタイムスタンプでもアップデート適用します。list.txt のパラメータ「;FORCE」には影響されません。

設定情報(common.txt)を適用した US110E が動作不正となる

→ 手動で変更した設定情報(common.txt)ファイルをアップデートした場合、US110E が起動しない、コントロールパネルのアイコンが表示されない等の予期せぬ状態になる場合があります。設定情報(common.txt)・接続先リスト(ユーザ名.txt)は、手動で変更しないでください。適用する設定情報(common.txt)を用意するには、ファイルアップロード機能で「設定情報アップロード」を実行してください。テキストエディタ等を使用した手作業での修正は、絶対に行わないでください。

3.7. Citrix 社 XenApp への接続に関して

ICA クライアントから Windows Server 2008 上の XenApp へ接続できない

→ US110E の ICA クライアントを Windows Server 2008 上の XenApp へ接続しようとする、エラーが発生し、接続することができない場合があります。この問題は Citrix 社より修正情報が公開されています。Citrix 社のホームページを参照してください。

(参考) <http://support.citrix.com/article/CTX118891>

Smart Card 機能が利用できない

→ SecureWare/IC カード発行キットにて、Windows Server 2008 は現在サポートされておられません。今後のサポートについて、SecureWare/IC カード発行キットのホームページを参照してください。

(参考) <http://www.nec.co.jp/cced/SecureWare/icc/index.html>

3.8. 画面解像度設定に関して

DDC モニターの最適なディスプレイが設定されない

→ 特定のディスプレイにて、DDC での最適(1440×900)を選択すると、ディスプレイの解像度は 1440×900 に設定されますが、画面解像度設定画面の現在の画面設定値が 1280×768 で表示される場合があります。この現象は NEC 194WXM-V ディスプレイにて確認されています。

3.9. サウンドに関して

サウンドのミュート設定が保存できない

→ 仮想 PC のコントロールパネルのサウンドとオーディオデバイスのプロパティ内のミュート設定は、そのセッション内でのみ有効です。再接続を行うとミュート設定のチェックボックスはオフ状態になります。

3.10. マウスポインタのデザインについて

マウスポインタのデザインを「3D ブロンズ」に変更してもマウスポインタに色が付かない

→ 仮想 PC のコントロールパネルのマウスから、ポインタのデザインを変更して、カラーのマウスポインタを選択しても、マウスポインタは白黒で表示されます。US110E では、カラーカーソルに対応しておりません

3.11. コントロールパネルのアイコンについて

コントロールパネルからアップデートのアイコンが消える

→ SSC エージェントで「DPM を使用する」を設定した場合、US110E 独自のアップデート機能は使用されないため、アイコンは表示されなくなります。

コントロールパネルからログオン設定のアイコンが消える

→ SSC エージェントで「クライアント管理オプションを使用する」を設定した場合、ログオン設定は使用されないため、アイコンは表示されなくなります。

3.12. デバイスの接続に関して

USB プリンタケーブルを US110E に接続した場合に「USB デバイスを認識できません」ダイアログが表示される

→ US110E が対応していないプリンタを接続したか、または、拡張プリンタドライバを使用中に、6 種類以上のプリンタを接続した場合に表示されます。拡張プリンタドライバを使用中の場合は、「コントロールパネル」－「システム」の「設定」タブにて、「プリンタの接続記録を削除する」をチェックして、一旦すべての種類のプリンタ情報を削除してから、USB プリンタケーブルの接続を行ってください。「プリンタの接続記録を削除する」を設定後も本メッセージが表示される場合は、US110E では接続されたプリンタは使用できません。

3.13. USB 装置について

IC カード Reader/Writer について

- US110E では IC カードを使用中に IC カード Reader/Writer 装置を外すことはサポートしていません。IC カード使用中は、装置を US110E から外さないでください。

3.14. プリンタに関して

互換プリンタドライバ

- 複数のプリンタを US110E に追加した場合、接続ポート入れ替え、電源 ON/OFF 状態、インストール順序と認識順の違いなどで、US110E に接続されたプリンタとプリンタ設定情報の対応がずれてしまい、印刷に失敗することがあります。
- 異なる種類のプリンタを複数接続する場合は、プリンタの電源 On/Off の状態によっては、印刷できなくなる場合があります。この場合は、拡張プリンタドライバを選択して下さい。
- マルチファンクションのプリンタにて、コンフィグ時に、Class 7 を持つ USB interface ディスクリプタが最初に定義されていない場合、プリンタ機能は使用できません。
- プリンタの追加・削除を繰り返している場合に、プリンタが削除できなくなる場合があります。この場合は、[コントロールパネル]—[システム]の[設定]タブにて、拡張ドライバのチェックボックスをONにして、OKを押し、再起動後、再び、プリンタの設定を行ってください。
- 互換プリンタから拡張プリンタへ変更した場合、全てのプリンタ設定は、初期化されます。再起動後に、再度設定する必要があります。

拡張プリンタドライバ

- 拡張プリンタから互換プリンタへ変更した場合、全てのプリンタ設定は、初期化されます。再起動後に、再度設定する必要があります。
- 同一機種を複数台接続をサポートしておりません。同一機種を複数台接続しないで下さい。同一機種を複数台接続した場合、メッセージが表示され、プリンタを使用できません。
- 拡張プリンタドライバは、5種類までのプリンタの接続を記録できます。6種類目を接続すると、メッセージが表示され、プリンタを使用できません。この場合は、[コントロールパネル]—[プリンタ]の[プリンタ接続記録の削除]を起動し、使用しないプリンタ接続記録を削除して下さい。

[プリンタ接続記録の削除]機能によって、削除された接続記録が使用していた LPTn(N=1-5)と同じものを使用するプリンタは、プリンタの一覧から削除されません。

印刷すると CPU 使用率が 100%になる場合がある

→ 仮想 PC に設定したプリンタに対して印刷を行った場合、CPU 使用率が 100%になる場合があります。本現象は、仮想 PC のプリンタに対して、実際の出力プリンタが存在しない場合に、発生することがあります。仮想 PC 上の使用しないプリンタは、仮想 PC から削除してください。US110E に接続されているプリンタは、仮想 PC 上にドライバがインストールされていれば使用することが可能です。

前のセッションのプリンタが表示される場合がある

→ 「プリンタと Fax」に、前のセッションのプリンタが表示される場合があります。その場合、画面の更新を行ってください。

3.15. ネットワークについて

仮想 PC の接続に失敗する

→ ネットワークが無効になっているために、仮想 PC の接続に失敗する場合があります。[コントロールパネル]を起動し、[ネットワークとダイヤルアップ接続]を起動して、「NETCLIENT-NSS」のアイコンに「×」が表示されているかどうか確認してください。「×」が表示されている場合は、ネットワークが無効となっています。「NETCLIENT-NSS」を選択し、マウスの右クリックで表示されたメニューから「有効にする」を選択し、ネットワークを有効にしてください。メニューの表示は、US110E を再起動するとリセットされるため、「NETCLIENT-NSS」が無効の状態であっても、メニューに「無効にする」が表示され、「有効にする」が選択できない場合があります。この場合、一旦「無効にする」を選択後、「有効にする」を選択してください。

3.16. キーボード入力について

NUMLOCK が反転する

→ Access 等で Sendkeys のコマンドが実行されると NUMLOCK が反転する場合があります。この現象は、US110E(Windows CE)の RDP クライアントが、Sendkeys コマンドに未対応であり、Sendkeys のサポート機能が実装されていないために

発生します(Microsoft 仕様)。

3.17. 画面表示性能について

Microsoft Office Access 2007 を利用するとキーボードやマウスのレスポンスが遅くなる

→ シンククライアントから仮想 PC に接続して Microsoft Office Access 2007 を利用すると、キーボードやマウスのレスポンスが遅くなる場合があります。これは Microsoft Office Access 2007 がキーボードやマウスの動きに合わせて広範囲に画面の更新処理を行うために発生します。この場合、ウィンドウの下部に表示される「ステータス バー」を非表示にすることで、レスポンスを改善できる場合があります。「ステータス バー」の表示・非表示の切り替えは以下の手順で設定できます。

1. Microsoft Office Access 2007 の画面左上にある「Office ボタン」をクリックします。
2. 表示されるメニューの右下にある「Access のオプション」ボタンをクリックします。
3. Access のオプション画面が表示されますので、画面左側の「詳細設定」をクリックします。
4. 画面右側に表示された画面の「表示」項目の下にある、「ステータスバー」のチェックボックスで、「ステータス バー」を表示させる場合はチェックをオンに、非表示にする場合はチェックをオフにします。
5. 「OK」ボタンを押します。

4. 強化・修正項目

4.1. 2009/09 版 強化・修正項目

1. アップデート機能の強化

- ・ アップデート処理の帯域制御をサポートしました。
- ・ シャットダウン時のアップデート機能を追加しました。
自動アップデートの方法を「起動時(;BOOTUP)」と「シャットダウン時(;SHUTDOWN)」から選択できます
- ・ アップデートで適用するファイルを全てダウンロードした後で、アップデート処理をするように、アップデート処理の動作を変更しました。
- ・ 自動アップデート開始時のサーバ接続のタイムアウト時間を設定できるようになりました。
- ・ アップデートファイルのファイルサイズチェック処理を追加しました。
- ・ アップデート時にバージョンダウンファイルの適用を抑制しました。

2. プリンタ機能強化

拡張プリンタドライバを追加しました。

拡張プリンタドライバはコントロールパネルのシステムの設定タブで指定できます。

拡張プリンタドライバを利用することで、複数のプリンタを US110E に接続して利用することができます。

拡張プリンタドライバ使用時の機能を強化しました。

- ・ ポート(LPTn)に対応したプリンタ説明情報の表示
- ・ プリンタ接続情報の削除機能

3. 対応プリンタの拡大

従来バージョンで使用できなかった一部プリンタの対応を行いました。本対応にて従来バージョンで動作しなかった XEROX 社、Samsung 社の一部プリンタの動作を確認しています。

4. 未対応デバイス接続時のメッセージの変更

未対応のデバイスを接続された場合に表示されるメッセージを変更しました。本バージョンより入力要求のないメッセージになりました。

5. DHCP 処理の改善

- DHCP サーバに接続できない場合に、US110E に保存されている DHCP のキャッシュ情報を使用しないようにしました。
- DHCP サーバから IP アドレスを取得できるまで、画面左下に「DHCP サーバから IP アドレスを取得中です...」のメッセージを表示するようにしました。このメッセージは、LAN ケーブルが接続されていない場合は表示されません。

6. US110E のスクリーンショットの採取機能の追加

US110E のスクリーンショットが採取可能になりました。

US110E の画面を表示中に[Print Screen]キーを押下することにより、クリップボードに保存され、接続先の仮想 PC 上のアプリケーション(ペイント)に貼り付けて利用することができます。US110E の全画面のスクリーンショットをサポートします。

7. クライアント管理エージェント画面の壁紙対応

クライアント管理エージェントのログオン画面で壁紙が使用できるようになりました。

コントロールパネルの画面のプロパティの背景タブで、模様を選択してください。

8. 入力言語の強化

10 種類のキーボードを追加サポートしました。

- スウェーデン語 [Swedish(Finland)]
- ポルトガル語 [Portuguese]
- ノルウェー語 [Norwegian Norway(Bokmal)]
- チェコ語 [Czech(QWERTY)]
- ギリシャ語 [Greek]
- ポーランド語 [Polish(Programmers)]
- トルコ語 [Turkish Q]
- ハンガリー語 [Hungarian]
- US-インターナショナル [United States-International]
- スロベニア語 [Slovenian]

2008/03 版でサポート済のキーボード一覧。

- 日本語 [Japanese]
- 英語(米国) [English(United State)-US]
- ドイツ語 [German]
- フランス語 [French]
- スペイン語 [Spanish]
- イタリア語 [Italian]
- ロシア語 [Russian]
- 中国語 [Chinese]
- 韓国語 [Korean]
- 英語(英国) [United Kingdom]

9. ユーザモード設定の強化

ユーザモードの設定にターミナル接続マネージャの[シャットダウン]ボタンと[コントロールパネル]ボタンの表示の有無を設定できる機能を追加しました。

10. システム

ネットワーク準備中の待ち時間を 0 秒～300 秒で設定できるようになりました。

11. ネットワークリンク構成

ネットワークリンク構成を設定できるようになりました。以下の設定値が指定できます。

- 「10 MBPS Half Duplex」
- 「10 MBPS Full Duplex」
- 「100 MBPS Half Duplex」
- 「100 MBPS Full Duplex」
- 「Autonegotiation Mode」

12. マウスの ALT+左クリック仕様変更

以前のバージョンでは、仮想 PC に接続した場合に、マウスの ALT+左クリックと、マウスの右クリックが同様の動きをしていましたが、本バージョンより、マウスの ALT+左クリックをそのまま仮想 PC に送信するように仕様を変更しました。

13. 画面解像度設定機能の強化

- ・ ディスプレイが表示できない解像度を設定して画面表示ができない場合、US110E を再起動して 3 秒以内に F12 キーを押すと、640x480(VGA)16bpp の画面解像度で再起動する機能をサポートしました。
- ・ DDC 使用時に画面の色数に 32bpp を選択できるようにしました。
- ・ DDC 使用時にディスプレイが対応している解像度の一覧から選択できるようにしました。
- ・ DDC 未使用時に 1920x1200(WUXGA) の画面の解像度を選択できるようにしました。この解像度を使用する場合、画面の色数は 16bpp としてください。32bpp を選択した場合は 640x480(VGA)8bpp で起動します。なお、US110E が 1920x1200(WUXGA) 16bpp で表示している場合でも、RDP 接続時は 1600x1200x16bpp で表示されます(Windows CE RDP5.2 の仕様です)。

14. 接続エントリの自動再接続機能のサポート

本機能は、ターミナル接続マネージャにて、接続セッションが全て終了した場合にスタートアップに設定した接続エントリを再接続する機能です。使用する接続エントリに本設定を行うことにより、接続中のすべての接続エントリが終了した際に、設定された接続エントリが自動的に接続されます。

15. ディスプレイ省電力設定のサポート

ディスプレイのバックライトをオフにする機能をサポートしました。

16. キーボード処理の改善

右 ALT + 右 CTRL + DEL キーの処理を、左 ALT + 左 CTRL + DEL キーの処理と同じ動作になるように変更しました。

17. 障害修正

- ・ プリンタの削除ができなくなるという現象を修正しました。
1 度本現象が発生した場合は、[コントロールパネル]—[システム]の[設定]タブにてプリンタドライバを変更することで、プリンタ設定が初期化されます。再起動後、設定を元に戻してください。
- ・ プリンタのプロパティを変更した場合に、印刷できなくなる場合があるという現象を修正しました。
- ・ 仮想 PC 接続中に Ctrl+NumLock、Ctrl+CapsLock、Ctrl+ScrollLock、Alt+CapsLock を押すと、LED が変化していた現象を修正しました。
- ・ ユーザモード設定の「ユーザモードのプロパティ」ダイアログのタブキー押下時の順序を修正しました。
- ・ 自動ログオンのパスワード桁数が 12 桁、20 桁・・・(8 桁ずつ増加)の場合に、自動ログオンに失敗する問題を修正しました。
- ・ マウスの応答スピードの初期設定を変更しました。これにより、仮想 PC に接続した状態で、アプリケーションのチェックボックスを選択した場合に正しく選択できない場合がある問題が修正されます。
- ・ キーボードのリピート開始までの待ち時間とリピート間隔のデフォルト値を最速値(短く、速く)に変更しました。これは、設定初期化を行った場合に有効となります。現在設定されている値は変更されません。
- ・ アップデート時に設定済のプリンタが使用できなくなる問題を修正しました。
- ・ 設定情報(common.txt)の配信にて、「ターミナルサーバーのクライアントライセンス」の情報を配信しないように改善しました。
- ・ アップデートの FTP 機能にて、1 つのファイルのダウンロードに 1 分以上かかる場合、次のファイルのダウンロードに失敗する場合があるという現象を修正しました。

US110E

ユーザーズガイド

(2009年9月 差分マニュアル)

2009年9月 初版

2010年9月 第2版

日 本 電 気 株 式 会 社

東京都港区芝五丁目7番1号

TEL (03) 3454-1111 (大代表)

© NEC Corporation 2009-2010

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。